

観光

平成23年度観光振興の  
取り組みについて

Q

町長の観光に対するビジョン、そして新たな観光施策をどのように展開していくか伺います  
また、箱根新道の無料化後、交通量、箱根地域への入込み、国道1号線への負荷軽減はどのようになったか、そしてその結果を受けてどの様に観光施設へ反映して行くか伺います。

A

国内観光客誘致のため、首都圏だけでなく、中部・関西方面へのセールスプロモーションや観光展、情報の提供のほか、町観光協会においても、着地型商品の企画や、アニメを活用した事業の企画など、集客力の向上に努めている。外国人観光客誘致については、特に中国からの観光客が増加すると予想されるので、中国広州へセールスプロモーションを実施するとともに、国の事業を活用して誘客に努めていく。

町長の観光に対するビジョン、そして新たな観光施策をどのように展開していくか伺います。また、箱根新道の無料化後、交通量、箱根地域への入込み、国道1号線への負荷軽減はどのようになったか、そしてその結果を受けてどの様に観光施設へ反映して行くか伺います。箱根新道交通量については、湯本山崎地点での入込台数は、昨年同時期と比較して減少、逆に箱根関所南交差点地点では、大幅に台数が伸びている。土・日曜日となると芦ノ湖畔沿いの道路は夕刻から箱根新道に向かうマイカーで渋滞となり、その影響で須雲川インターチェンジ付近から料金所まで渋滞が続くなどの現象が起きているようである。国道1号については、土・日曜日は従前と変わらず渋滞が続くなど、箱根湯本をネットワークに上下線の渋滞が続いている状況にある。無料化による観光施設の影響度については、観光関係団体等からの情報でもさほど影響はないと判断しているようである。



企画

住宅リフォーム  
助成制度の創設について

Q

住宅の増改築やリフォームの際の経費の一部を補助する住宅リフォーム助成制度が今全国に広がっております。潜在的なリフォーム需要をすくいあげ、それを町の中小業者への仕事に結びつけるこの制度は補助金を活用して新たな需要を掘り起こす取り組みとして住民にも業者にも喜ばれている制度です。是非、当町においても経済対策として、このリフォーム助成制度の創設し地域経済活性化を推進すべきと考えます。

A

この制度は、町にとっても人口の定着化や労働力の確保を図るための有効な施策の1つであると認識している。その反面、直近の平成18年の事業所・企業統計調査結果では、町内に1,585ある事業所の内、住宅リフォーム助成制度の恩恵を最も受けると考えられる建設業関連の事業所の数は121で、全体の約7.6%である。飲食店・宿泊業関連

の事業所の数は70と最も多く、全体の約44.1%という数値にも表れているように、観光立町である本町においては、住宅リフォーム産業に特化した補助制度では町全体の経済の活性化にはなかなかつながらないのではないかと考えている。現在当町では、町内に自ら居住する住宅を新築、購入、増改築等する場合の住宅取得資金の利子補給制度と融資保証料の補助金制度をはじめとして、「住宅用太陽光発電補助制度」や「木造住宅耐震化補助制度」といった、町民の居住環境の向上や経済的な負担の軽減となる施策を既に実施しており、地域経済の活性化にも少なからず貢献していると考えている。従って、住宅リフォーム助成制度の創設については、地域経済の活性化に結びつく課題であるが、現在のところ考えていない。

視察  
来町

東京都八丈町議会

◎平成23年2月2日  
来町者 議員6名  
事務局1名

目的 観光行政について  
八丈町は、観光行政について当町のフラワースェンターや湿生花園等を視察に訪れたものです。



千葉県神崎町議会

◎平成23年2月15日  
来町者 正副議長  
議員6名

目的 現地視察（道の駅施設の概要）  
神崎町には、現在、道の駅構想があり、計画を進めていることから当町の道の駅の売上や維持管理費用等の状況について視察に訪れたものです。

